

研究タイトル：

HAIKU 創作と英語学習指導への応用



氏名：	関 文雄 / SEKI Fumio	E-mail：	seki@kumamoto-nct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	修士(言語学)
所属学会・協会：	全国高等専門学校英語教育学会		
キーワード：	英語教育、英語俳句、文法指導		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		

研究内容：

現在、英語での俳句(HAIKU)が世界各地で新しい詩形として受け入れられつつある。特に、英語を母国語としない国々でもその人気は拡大している。各言語に適した季語や定型を採用することが推奨されており、これにより多様な自然や文化的背景を持つ HAIKU が世界中で生まれている。この独特の詩形を英語教育に活用することで、その効果を検証する。

令和元年度から令和 4 年度にかけて、クリエイティブアーツの授業での HAIKU 創作を実施した。この授業には 4 年で合計 99 名の学生が参加し、受講期間中にそれぞれ 4~5 句の HAIKU を創作した。

HAIKU 創作を通じて、特に初級レベルの英語学習者が犯しやすい文法的な誤りに焦点を当て、指導に役立つ 4 つの主要な観点を特定した。これらは、(1)モーラとシラブルの感覚の違い、(2)自動詞と他動詞の区別、(3)現在分詞と過去分詞の区別、(4)季節感や文化背景の差異である。モーラとシラブルの違いについては、シラブル数を意識してカウントする練習を通じて、音声指導にも応用できる。また、自動詞と他動詞、現在分詞と過去分詞の区別は、HAIKU の特徴である前置詞や be 動詞の省略に関連して、語句の選択と順序が意味理解に重要であることを示している。さらに、異なる地域の HAIKU から季節の語句を取り入れることで、その地域特有の季節感や文化の違いを教材として利用することができる。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	